



ふくしのお便り

2022. 9月

第2回春日地域福祉委員会を開催しました。(9月13日～15日)

福祉委員さん(春日地域50名は、社協会長が委嘱をしている委員さんです。身近な範囲の見守りや声かけ、サロンやいきいき百歳体操への参加、自治会行事への参加、社協事業へのご協力をお願いしています。

第2回目の福祉委員会では、赤い羽根共同募金運動に関するご依頼と、福祉委員として活動していること、また、これから取り組もうと思っておられることなど、グループワーク形式で意見交換会を行いました。

今年は福祉委員さんに、篤志募金(個人募金)の取り組みとして、自治会内で募金協力への声かけをお願いしています。



福祉委員としてどのような活動をされていますか？

- 民生児童協力委員さんと、お一人暮らし高齢の方のお宅を毎日訪問している。
- お一人暮らし高齢の方のお宅へ訪問。ご家族からの気にかけてほしいと言われている。
- 外で出会った時に声かけをしている。訪問を嫌がる方もおられるので悩んでいます。
- いきいきサロンや百歳体操に参加している。お花見も喜んでおられた。
- 自治会行事に参加されなかった人に声をかけた。訪問する時にお話を聞いている。
- 自治会で福祉学習を行った。

など

福祉委員として取り組みたいこと

- お一人暮らしの方へ声かけをしていきたい。
- 百歳体操へ参加する。
- いきいきサロンに参加したい。
- 自治会の意見を聞きながら募金活動に対応します。
- 見守り活動として高齢の方に声をかけたい。
- 民生児童委員さんと協力しながら、お一人暮らしの方を中心に気配りをしていく。

など

地域の中で声かけをされておられる福祉委員さんが多いようです。自治会や民生児童委員さん、協力委員さんとの連携も大切ですね。

9月はアルツハイマー月間

9月21日は世界アルツハイマーデー

～認知症になっても安心して暮らせる社会を～

1994年、「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は世界保健機関(WHO)と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、123の国・地域の加盟団体で認知症への正しい理解が進むことを目的に啓発活動を行っています。

また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、日本では「公益社団法人 認知症の人と家族の会」が中心となり、全国各地で啓発リーフレットの配布や記念講演会、動画配信などを行っています。

丹波市では、オリジナルチラシやグッズの配布等、認知症の正しい理解を地域へ広げる取り組みを継続して行っています。※認知症かなと思ったらまずはかかりつけ医にご相談ください。

～地域の相談窓口～ よろずおせっかい相談所(支援センター・相談所・つなぎ)があります！

★心配なこと、気になることなど、誰かに聞いてほしい・・・社協の窓口やお電話でも大丈夫です。

・社協春日支所 74-0477
・ふだんのくらしサポートセンター
・よろずおせっかい支縁センター 74-0294

赤い羽根共同募金、10月からはじまります

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動がスタートします！
集まった募金は翌年度に丹波市の地域福祉事業に使われます。
春日地域においても各自治会や事業所等にご依頼させていただきます。
皆さまの温かいご協力をよろしくお願い致します。



「日常生活自立支援事業」



★事業紹介

日常生活自立支援事業とは在宅で生活しながら、認知症や障害などにより判断能力に不安のある方が使われる事業です。日常生活において本人が「自分で決める」ことを支援(意思決定支援)します。

支援内容

○日常的金銭管理

→公共料金などの支払いの手続き支援や、毎日の生活に必要なお金をご利用者と相談、出金しお届けする支援をします。

○書類等の預かりサービス

→預金通帳、金融機関届出印、年金証書等の公的書類をお預かりします。

○福祉サービスの利用援助

→福祉サービスの利用の相談、利用手続き、利用料の支払いを支援します。

◎ご利用者の権利を守る視点

この事業は本人が主体的に生活していけるように、社協職員、生活支援員、関係者がご利用者の意思を聞き、一緒に考え、支えていく事業です。

また、いつまでも支援を続けて行くのではなく本人の変化に合わせて支援内容を減らしたり、事業を止めることもあります。

※詳しい内容については社協春日支所まで

春日福祉バザー中止について



春日福祉バザーにつきまして、開催に向け準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考え、やむを得ず中止とさせていただくこととなりました。

楽しみにされていた方、物品をご準備していただいていた方に大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますようよろしくお願い致します。